

生物多様性の取組を通じたシビッ クプライドの醸成と地域づくり

～豊かな自然の中でまちづくり～

独立行政法人環境再生保全機構-生物多様性に関する講演会

2026.10.22

千葉県野田市自然経済推進部 調整官 宇田川 克巳



野田市の紹介



利根川、江戸川、利根運河に
囲まれている

境町

森林や水田など緑が多い

茨城県

坂東市

江川地区

埼玉県

春日部市

至大宮

川間

七光台

清水公園

至安

国道16号

野田橋

野田市

梅郷

東武アーバン
パークライン

吉川市

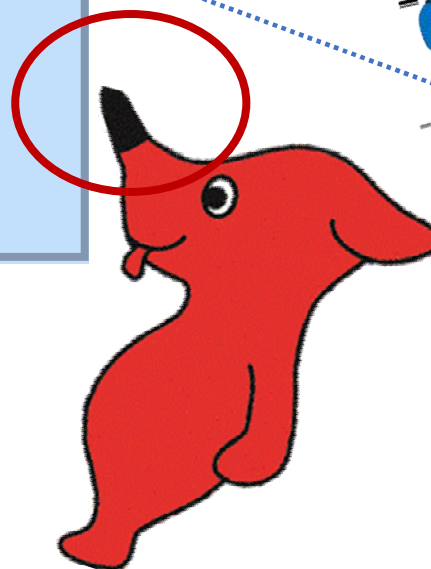
玉葉橋

流山市

至千葉

柏市

守谷市



江川地区について（自然共生サイト認定）

自然と共生する地域づくり

貴重な動植物や優れた里山環境の保全

◇止まり木の設置



江川地区ビオトープ整備計画図

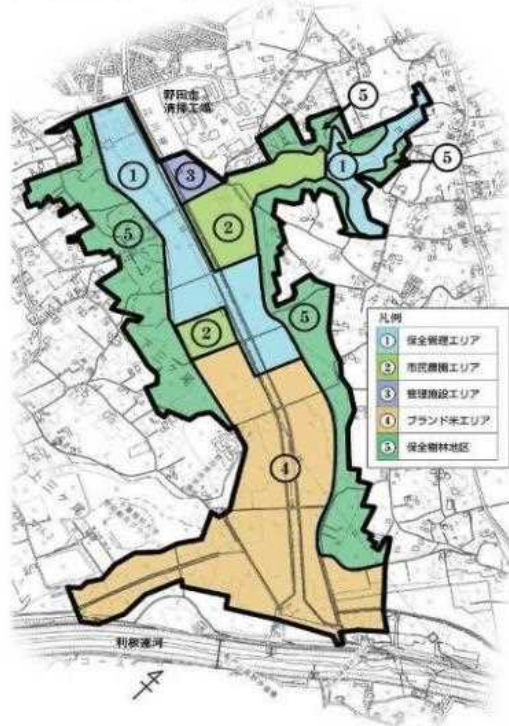
◇カエルの産卵場所確保



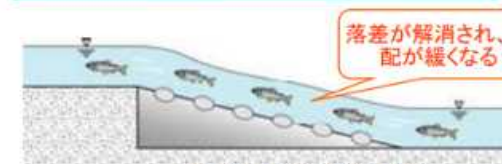
◇水路等の多面性確保



◇水田魚道の整備



◇市民水田 田植え～稲刈り～観察会



魚介類の移動が可能



コウノトリ飼育施設

こうのとりの里管理棟

従業員休憩所

こうのとりの里飼育観察棟

水田型市民農園圃場

市民農園エリア

野田市江川地区

2025/10/16

撮影 野田スカ

江川地区に生息する代表的な動植物

鳥



オオタカ



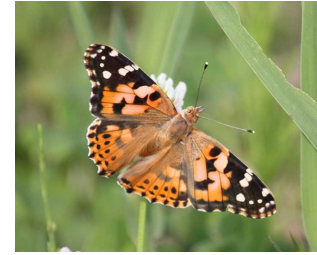
サシバ



カワセミ



ショウジョウトンボ



ヒメアカタテハ



ヘイケボタル

昆虫・クモ

植物



キンラン



アカネスミレ



ミズアオイ



ニホンアカガエル



シュレーゲルアオガエル

カエル・魚



コウノトリの取組みへ

しかし、野田市だけで頑張っても限界

・ 鳥類の移動、魚類が行き来

⇒水系を通して貴重な自然を保全形成できる地域をつなぎ、面的な広がりを持つエコロジカル・ネットワークの形成を図

広域なシンボルが必要



※関東地域におけるコウノトリ・トキを指標とした生態系ネットワーク形成基本計画より

コウノトリをシンボルとした取組へ

なぜ、コウノトリ？

高次消費者

消費者

生産者
(植物)

分解者
(土の中の生きもの)

生態系ピラミッドの頂点

コウノトリは、**国の特別天然記念物**であるため、注目が集まり、目に見える指標種となる



コウノトリが年間を通じて生きることができる



ピラミッドの下にいる多様な生きものが生息できる環境がある

コウノトリは、古くから幸せを運ぶという言い伝えがあり、多くの人から**愛されてきた**

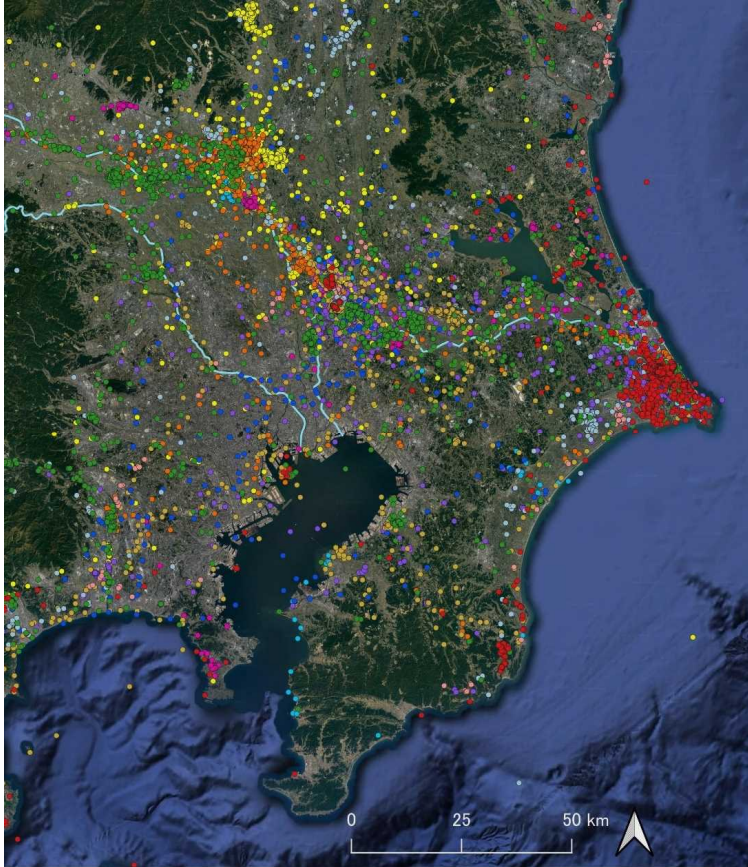


令和6年度野田市内で初の野外繁殖



このとりの里の前の
電柱の上で営巢

野生復帰の広がり



コウノトリの個体数

野外個体 552羽 (令和7年12月31日現在)

飼育個体 195羽 (17施設) (令和7年12月31日現在)

地域の多様な主体との連携



**自然保護団体の
観察会の開催**



**市民ボランティアによる
コウノトリの施設ガイド**



**市内学校との連携
(福田第二小ドライフ
ラワープロジェクト)**



環境学習の場として

2026/10/16

そのほかにも多くのご
協力・連携をいただき
取組みを行っています。



生物多様性の取組を通じたシビックプライドの醸成

江川地区 水田型市民水田
昔ながらの田園風景の創出
コウノトリの飼育・放鳥拠点

コウノトリ ボランティア組織
ガバメントクラウドファンディング
愛称募集

生物多様性 のだ戦略の策定
アンケートの実施

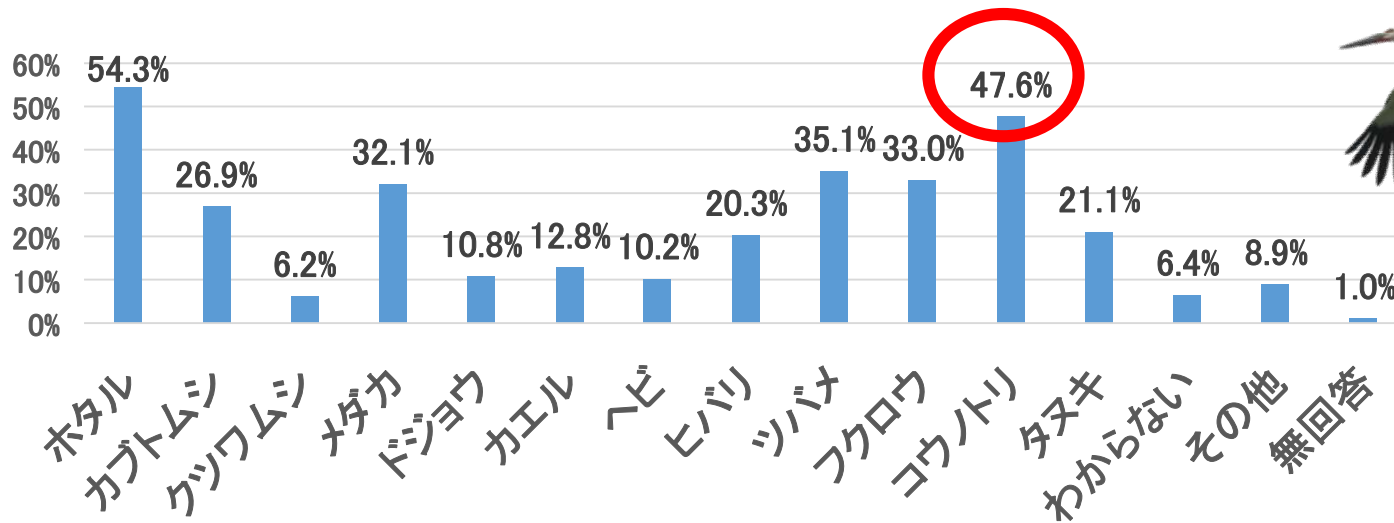
自然共生サイトの認定



子どもたちへの広がり



10年後、野田市内でどんな生きものがふえるといいな
と思いますか？



コウノトリの認知度が高い

千葉県野田市から関東、そして日本の空へ

人もコウノトリも住みやすい魅力的な地域づくりの実現へ…

ご清聴ありがとうございました

